

Energy NEXT ニュースレター

JXエネルギー社長との懇談会

2016年1月15日(金)、リーディング生7名が本プログラムの連携企業であるJXエネルギー株式会社の本社を訪問し、杉森 務 社長、五十嵐 仁一 常務執行役員、吉見 章 中央技術研究所副所長と懇談しました。代表学生3名による研究紹介と、各学生から杉森社長への質問の後、杉森社長から激励を受けました。学生からは、

「ただ広い知識を持つだけでなく、“変化を追う目”を持つことが大切だという言葉があった。流動的な時代や社会の流れを掴み、先を予測することが大切だというこの指摘は、まさに革新的な研究をするにはどうすればよいのか、“エネルギー・ネクスト”はどうすれば達成できるのか、という自分の持っていた疑問の答えであり、特に印象に残っている。」(LD4 加藤さん)

▶前列右から3番目がJXエネルギー社長の杉森様。経験に裏付けられたご発言に、学生たちは多々学ばせて頂きました



「大きな変化を迎えている石油業界における日本一の企業であるだけに、JXエネルギーの今後の戦略には以前から関心を持っていた。“将来的な石油の国内需要は減少が見込まれているが石油が重要であることは変わら

ないため、より効率的な安定供給を追求する一方で、その収益を補填するために新たな分野や海外への進出をする”限りある時間の中で何うことができたのは表面的な部分だけだったのかもしれないが、派手さはないが社会の変化に合わせた極めて堅実な戦略だという印象を強く受けた。」(LD3 喜久里さん)

「簡潔明瞭であることの大切さを教えられた。自身の研究を専門外の方に伝えることがいかに難しいかを実感しており、杉森社長も、その点がまさに研究者の課題であるとおっしゃった。また、杉森社長ご自身による、業務提携や電力業界参入への考え方についてのお話が簡潔明瞭かつ的確だった。今後、物事の本質をもっと理解できるように努めたい。」(LD2 龍瀬さん)

などの感想が寄せられました。日本を代表する産業界のリーダーの方々との懇談は、学生が将来のグローバルリーダーに向けたキャリアパスを考える一助となりました。

学生によるレポートは本プログラムWEBサイト(<http://www.leading-en.sci.waseda.ac.jp/activity/?pid=1960&id=1>)からもご覧いただけます。

